

なぞなぞ絵皿をつくろう ~簡単な「しかけ絵本」づくり~

本プログラムのねらい

- ◎簡単な「しかけ絵本」の作り方を学び、子供と楽しむことのできる絵本を作ることができる。
- 書店や図書館にある様々な「しかけ絵本」を知ることができる。

期待される効果

乳幼児に対して、どのような本を与えてよいか悩む保護者が、**子供に合った「しかけ絵本」を作って、読書に親ませようとする。**

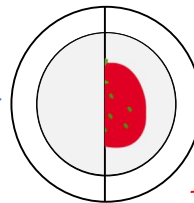
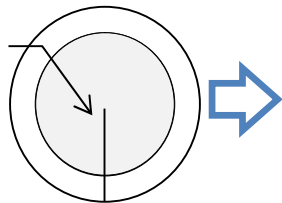
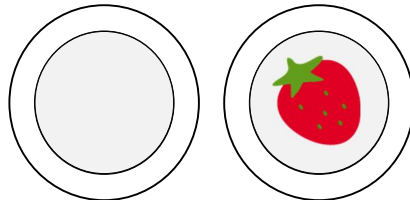
活動の様子

2枚の紙皿を組み合わせ、簡単なしかけ絵本を作ります。

2枚の紙皿を用意して、片方には、なぞなぞの答えになる絵を描いておくんだ。



絵を描いた方を下にし、2枚を重ねて、切り込みを入れる。



切り込みを入れたところから、後ろの皿を回しながら前に出すようにするのね。



【準備物等】

- 紙皿2枚
- はさみ
- ペンや色鉛筆

主な流れ

- 1 紙皿の内側に、一枚目にはなぞなぞ、2枚目には答えの絵を描き、紙皿2枚を重ねて中心まで切る。
※子供の年齢に応じて、1枚目のなぞなぞの絵皿には、ヒントとなる絵をいくつか描く。
- 2 切れ目から後ろの皿を回しながら2枚目の絵を前に出して、グループ内で作った絵皿で楽しみ、感想を交流する。
※時間があれば、さらに工夫した方が良い点などを教え合って、再度作ってもよい。
- 3 作品を鑑賞したり、発表したりした後、家で行う際のポイントなどについて話し合う。

運営上の留意点

様々な「しかけ絵本」を紹介しましょう。

エリック・カールの「はらぺこあおむし」の他、「フェリックスの手紙絵本」シリーズなど、書店には様々な「しかけ絵本」が売られています。「しかけ絵本」は、小さなお子さんの読書に対する興味関心を抱かせる上で効果的ですので、図書館司書の協力を頼んで、この機会に多くの「しかけ絵本」を紹介しましょう。その上で、保護者が自作できる「しかけ絵本」の作り方を紹介すると効果的です。